



# 両 中 四 季



令和8年2月6日 第11号

## 後期学校評価について

両川中学校では、教育目標「未来をたくましく生き抜く生徒」の具現に向けて、身に付けさせたい資質能力を「傾聴力・思考力」「自己肯定力」「行動力」と設定しています。後期学校評価がまとまりましたので、お知らせいたします。

\*表中の◎は、4段階評価で最上位「とてもそう思う」の割合

1 傾聴力・思考力	
目指す姿	主体的・対話的で深い学びのある授業を通して、新たな考えを創造する思考力の高まりを実感する生徒
評価基準	「授業を通して、他者の考えに学んだり、自分の考えを深めたりしている」生徒が90%以上（◎50%以上）
結果・考察	肯定的評価は93.1%（◎60.5%）で、前期に引き続き、大変よい結果でした。どの授業でも、他者の考えを取り入れて、思考を深める学びが定着してきています。来年度も、意見交流や対話の場を工夫し、他者の考えを手がかりに思考を深めていきます。また、ICT活用や関わり合いを重視して「学ぶことの楽しさ」を実感できる授業づくりに取り組んでいきます。
2 自己肯定力	
目指す姿	温かな学級支持的風土と誰もが過ごしやすい心理的安全性の高い学校生活を基盤として、自己肯定力の高い生徒
評価基準	「学校が楽しい」生徒が85%以上（◎40%以上）
結果・考察	肯定的評価83.7%（◎37.2%）で、前期より微増でしたが、目標にやや届きませんでした。安定した学校生活の基盤が継続され、目標をもって生活を送っている生徒が多かったです。しかし一方で、これまでの人間関係の閉塞感や挑戦する気持ちの不足等により、自分らしさを発揮できない生徒もいました。来年度も、生徒一人一人に活躍の場面を意図的に設定し、自己肯定感の向上を目指します。
3 行動力	
目指す姿	自他の違いや存在価値を認める特別支援教育の推進を通して、共生社会の実現に寄与できる行動力のある生徒
評価基準	「自分の周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活をしている」生徒が80%以上（最上位評価40%以上）
結果・考察	肯定的評価95.3%（◎76.7%）で、高かった前期をさらに上回り、とてもよい結果でした。学年の実態に合った支援策を講じることで、個性を認め合う風土が醸成されてきました。また、定期的に職員研修を実施して、合理的配慮の在り方や個別の支援計画の検討を進めてきました。次年度も、今年度の成果を基盤として、個性の違いを認めながら自信をもって歩んでいく生徒の育成を目指します。

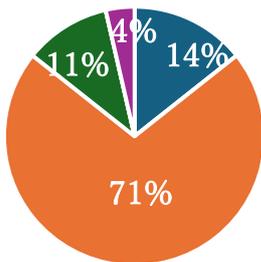
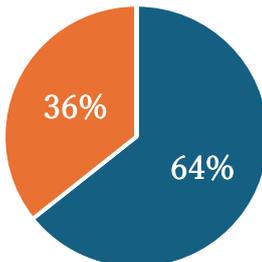
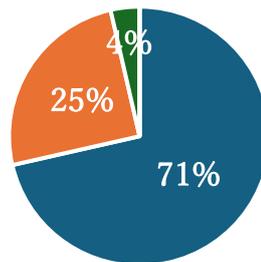
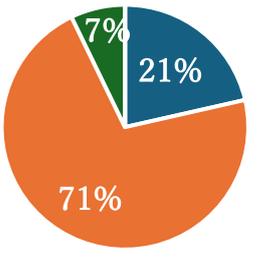
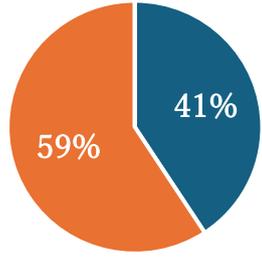
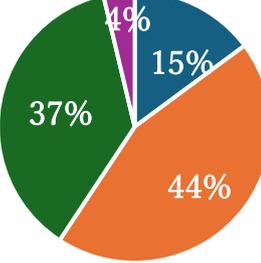
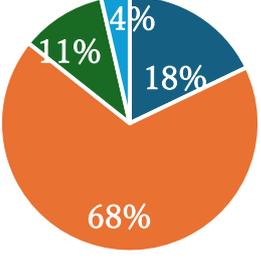
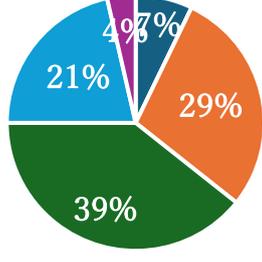
## 4 健康

目指す姿	望ましい生活・運動習慣の確立に向け、健康課題について自ら考え実践する生徒
評価基準	①「1日当たりのテレビゲーム（PC・携帯式ゲームなど）の時間」および、②「1日当たり携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴の時間」が、ともに2時間未満の生徒が80%以上
結果・考察	①55.8%②53.6%で、ともに前期とほぼ変わらず、目標に届きませんでした。前期以上に保健だよりで啓発したり、保護者の協力を得ながら生活リズム週間を実施したりしましたが、思うような成果が得られませんでした。メディア視聴時間の長さは、中学生の健康的な生活に直結することから、引き続き、学校・家庭・地域が連携した取組を継続していきます。

## 保護者アンケート(抜粋)

いただいたご意見などは、来年度の学校運営の参考にさせていただきます。ご協力、ありがとうございました。

紺色:よく当てはまる   橙色:やや当てはまる   緑色:あまり当てはまらない  
水色:まったく当てはまらない   紫色:分からない

<p>1 学校の雰囲気は明るく活気が感じられますか。</p> 	<p>2 学校は保護者の皆様からの連絡や相談に迅速かつ適切に対応していますか。</p> 	<p>3 学校の職員は応対や電話などに誠意をもって対応していますか。</p> 
<p>4 お子さんは、家庭や地域でさわやかなあいさつができていますか。</p> 	<p>5 お子さんは、社会のルールを守って生活していると思いますか。</p> 	<p>6 お子さんは、時間を決めて計画的に家庭学習をしていますか。</p> 
<p>7 お子さんは、望ましい食生活をしていますか。</p> 	<p>8 お子さんのメディア利用時間は適切ですか。(1日2時間が適切)</p> 	<p>9 お子さんは、安心して伸び伸びと学校生活を送ることができていますか。</p> 